



自然再生検討エリア
 ・関係機関により総合的に検討していく。

最も緊急性の高いエリア(塩浜2丁目)
 ・多くの空洞箇所を確認。
 ・既設鋼矢板の腐食が著しい。
 ・背後地は高度に利用されている。

継続して検討するエリア(塩浜3丁目)
 モニタリング結果を検証しながら最適な
 護岸形状について、引き続き検討。

施工部分
 L=約100m
 H17~H18年度施工

石積護岸
 (3割)
 L=約100m
 基本断面

断面はモニタリング結果等を検証しながら決定。

L=約800m
 断面は施工済み箇所のモニタリング結果等を踏まえ基本断面を検討。

市川海岸における護岸改修計画

東京湾

基準面 A.P. S=1/5,000